

気賀っ子応援団

～気賀小コミュニティ・スクールだより～ 第5号 令和4年2月

気賀っ子応援団への御協力ありがとうございました

今年度も新型コロナウイルス感染症への対応で活動が制限されましたが、ボランティアの皆さんの御協力を得て、気賀っ子の授業を支援することができました。ありがとうございました。

また、今年度はさくら連絡網を通して保護者ボランティアを募ったところ、たくさんの保護者の皆さんに御参加いただき、参観会とは違った子供たちの姿を見ていただけたことと思います。引き続き、授業支援・園芸などボランティア活動を通して、気賀っ子の活動を御支援いただける方を募集していきます。

来年度も、地域と学校、保護者みんなで協力して、子供たちを見守り育てていけるよう、御協力をお願いいたします。ぜひ、CSの輪を広げていきましょう。



ありがとう集会 1月31日



5年生 調理実習

炊飯器を使わず鍋でご飯を炊く方法を学びました。

自分たちで出汁を取って味噌汁を作りました。

火加減って大事ですね・・・





パンジー苗植え替え

雨が降る中、たくさんのパンジーの苗をポットに植え替えました。

3学期に子供たちが一人一鉢育てていく大事な苗です。大きく育ちますように★

6年生 体育・跳び箱

体操教室の先生を講師に迎え、開脚跳び・閉脚跳び・台上前転のこつを教えてくださいました。

今後の練習に活かして、安全に練習していけるといいですね。



「できる人が できるときに 無理なく楽しく」

今、気賀小学校では令和4年度の教育課程編成を進めています。12月、気賀小の現状について教職員で話し合いました。その中で、地域について以下のような意見が出されました。

これまで諸先輩方が「地域に信頼される学校づくり」を進めてきていただいたおかげで、地域の方々は気賀小学校を「地域の学校」として大切に思い、協力してくださっています。

- CSの協力を要請すると協力してくれる
- 気賀小教育を受けている人が多い(理解がある)
- 協力的な家庭が多い
- 学校行事への参加が多い
- 地区のつながりが強い



コミュニティ・スクール（CS）が始まり、学校支援コーディネーターを中心に、地域の方々と学校のつながりがさらに強くなってきています。本年度は歴史探検や調理実習、栽培活動等で子供たちの学びを支援していただきました。本当にありがとうございました。令和の教育のキーワードは「個別化」と「協働」です。子供一人一人の特性に合わせて、子供同士、教師、地域、保護者が協働して学びを充実させていきましょう。

CSの3年目に向けて、ボランティア・リストを作成しています。興味のある方は「気賀っ子応援団」への参加をお願いいたします。

「できる人が できるときに 無理なく楽しく」

子供たちと一緒に活動することで、学校での子供たちの学びの様子が分かり、学校と地域、家庭の相互理解が深まります。さらに、自分自身の学びにもなります。これからも気賀小教育への御理解と御協力をお願いいたします。

気賀小学校長 齊藤 昌長